



冬休み (12月24日~1月7日) も安全な生活を

今週お子様をととして配付させていただいた「ほほえみ」(生徒指導だより) から、安全面について触れてみます。

(1) 交通ルールを守り、事故にあわないように十分注意する。

- ・道路に飛び出さない。
- ・横断するときは、一旦停止して左右確認する。
- ・自転車の二人乗りや手放し運転をしない。

【三和小 自転車乗りのきまり】

- 1・2年生 … 自分の家の庭
- 3・4年生 … 方部内 (長沼街道と県道三穂田須賀川線は乗らない)
- 5・6年生 … 学区内 (長沼街道と県道三穂田須賀川線は特に注意する)



ヘルメット着用は
努力義務です。

(2) 危険な場所では絶対に遊ばない。

- ・川・池・沼での氷遊び
- ・電線近くでのたこあげ など

(3) 外出するときは、「だれと、どこへ、何をしに、何時に帰るか」を家の人に知らせる。

- ・お昼には帰宅する。また夕方は午後4時までに帰宅する。

(4) 不審者に注意する。

- ・外出する時、防犯ブザーを持って出かける。
- ・できるだけ一人では行動しない。

(5) 学区外には、子どもだけでは行かない。

- ・デパート、スーパー、ゲームセンター、遊園地、カラオケなど

(6) お金の使い方や、物の貸し借り (特にゲームソフト) に注意する。

(7) 携帯電話、インターネットについては、お子さんの使用状況を把握してください。



1月8日(金)の第3学期始業式に、子どもたち全員が元気に登校してくることが我々教職員の一番の願いです。冬期間は、路面の凍結などが予想されます。子どもたちの安全を確保する点から、そのようなときには、自転車乗りを禁止するなど、安全面での厳しい取り組みが必要になります。事故にあってからでは、取り返しがつきません。日頃以上の厳しい姿勢で、子どもたちを見守っていただけるとありがたいと思います。

また、子どもの交通事故原因として一番多いのが、「飛び出し」です。子ども目線と運転者目線では、相対的な開きがありますが、それをお互いに感じ取ることはできません。そのために、事故は発生してしまいます。子どもの特性として、具体的な場面で具体的な指導をしないと身に付かないということがあります。子どもたちの普段の動線の中に、危険なところはないか? 大人が、指摘してやるのが大切です。そのような危険箇所では、一時停止どころか、十分に安全を確保してから、横断するなどの具体的な行動を教えてあげることが大切だと思います。ご協力をお願いいたします。

なお、このことは、不審者対応にも同じことが言えると思います。重ねて、ご協力願います。